

ライラックの仕立て法と適品種

佐藤 裕則・佐藤 武義*・小野 恵二

(山形県立園芸試験場・*最上農業改良普及センター)

Method of Pruning Lilacs (*Syringa vulgaris* L.) and its Varietal Performance

Hironori SATO・Takeyoshi SATO* and Keiji ONO

(Yamagata Prefectural Horticultural Experiment Station, *Mogami Agricultural Extension Service Center)

1 はじめに

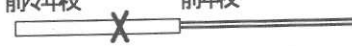
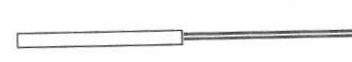
ライラック (*Syringa vulgaris* L.) の切り枝生産は国内では北海道, 山形, 群馬, 長野等の主に寒冷地で見られる。しかし, 市場取り扱いの大半 (57%:2002 年 東京都中央卸売市場) は輸入物に頼っており, 国内で営利栽培の拡大が望まれている。

そこで, 本研究では, 幼木時の仕立て法, 収穫枝を得るための高木仕立ての整枝時期, また, この仕立て法で栽培可能な営利品種を明らかにしたので報告する。

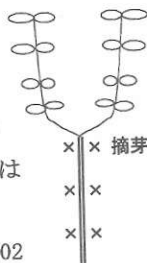
2 試験方法

(1) 幼木仕立て法試験 (1995 年)

供試材料には 1994 年 4 月に定植した 'Mme. Lemoine', 'Esther Staley' を用いた。切り戻し位置として, 下図に示す前年生枝 1/3, 前々年生枝, 無処理の 3 処理を 1995 年 3 月 3 日に行なった。1 区 5 樹を供試した。

前年生枝の基部 1/3 残し 
前々年生枝で切る 
無処理 (切り戻しなし) 

なお, 切り戻し仕立て 2 年目に前年生枝から発生する新梢は, 右図のように強勢な 2 本を残すことを基本とし, その他は 5 月上旬に摘芽した。また, 弱勢枝は 3 月に整理した。



(2) 高木仕立ての整枝時期 (2000, 2002 年)

供試材料には 1994 年 4 月に定植した

'Mme. Florent Stepman', 'Mme. Lemoine' を用いた。

整枝時期として 2000 年は 3 月 29 日, 5 月 22 日 (開花時期) の 2 水準, 2002 年は別の樹を用い 2 月 5 日, 3 月 7 日,

4 月 5 日の 3 水準を設定した。

整枝時に樹高 80~90 cm になるように前々年生枝または前年生枝の基部 3~5 cm 残して切り戻した (写真

1)。1 区 5 樹を供試した。

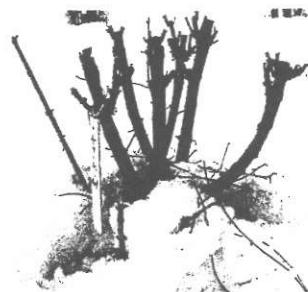


写真 1 整枝後の樹形

(3) 高木仕立ての適品種 (2003 年)

供試材料として 1994 年と 1996 年 4 月定植の 9 年および 7 年生樹の表 4 に示す 24 品種を用いた。整枝は 2002 年 3 月 12~14 日に行った。1 品種 3 樹を調査し, 樹勢は区外も含めて 5~6 樹調査した。

3 試験結果及び考察

(1) 幼木仕立て法

切り戻し仕立て 1 年目の新梢は, 切り戻した 2 区では無処理区よりも枝長が長かったものの, 仕立て 2 年目の新梢は, 無処理区では切り戻した 2 区よりも枝長が同等もしくは長く, かつ 0.3m 以上の枝数が多かった (表 1)。

このことから, 定植後の幼木の管理は, 2 年間は放任とし樹勢を強めるのがよいと判断される。

(2) 高木仕立ての整枝時期

(2000 年) 収穫後の 5 月 22 日の整枝では, 両品種とも枝長が短く, かつ着花枝率が低かった。これは, 毎年の収穫が困難であることを示している。一方, 3 月 29 日に整枝した場合は, 枝長, 着花枝率が高く, 特に 'Mme.

表 1 幼木仕立て法における切り戻し後の新梢生育

品種	切り戻し位置	1 年目新梢生育		2 年目新梢生育		
		枝長 (cm)	枝数 (本/樹)	枝長 (cm)	枝数 (本/樹)	同左 0.3m 以上 (本/樹)
Mme. Lemoine	前年生枝 1/3	45	6.6	34	15.0	7.3
	前々年生枝	50	6.3	39	12.8	11.1
	無処理	31	8.6	45	17.2	15.8
Esther Staley	前年生枝 1/3	69	4.6	44	10.0	7.2
	前々年生枝	64	4.8	47	10.0	7.9
	無処理	57	5.0	48	10.4	10.0

表2 高木仕立ての整枝時期と新梢の生育、着花枝率(2000年)

品 種	整枝 時期	新梢伸長 停止時期	枝長 (cm)	枝数 (本)	着花枝率 (%)
M.F.S	3月29日	6月中旬	67	15	84.4
	5月22日	8月上旬	39	19	57.4
M.L	3月29日	6月中旬	52	29	59.3
	5月22日	8月上旬	35	26	26.7

表3 高木仕立ての整枝時期と枝数、着花枝率(2002年)

品 種	整枝 時期	未着花 枝数 (本/樹)	商品z 本数 (本/樹)	全枝数 (本/樹)	着花 枝率 (%)	特記事項
M.F.S	2月5日	0.0	12.4	12.6	100	1本弱樹勢
	3月7日	0.0	14.0	14.2	100	
	4月5日	0.0	14.8	15.8	100	
M.L	2月5日	2.4	23.6	28.0	91	
	3月7日	0.0	19.0	19.2	100	
	4月5日	1.8	11.6	14.2	87	

注. z: 枝長50cm以上かつ花芽2個以上

Florent Stepman' は翌年収穫するのに十分な枝長, 着花枝率が得られた(表2)。

(2002年)枝長は両品種とも整枝時期が早くなるほど長い切り枝が得られた(図1)。着花枝率は整枝時期にかかわらず高かったが, 4月5日整枝の'Mme. Lemoine'では枝数も少なく商品本数が減少しており(表3), 整枝時期は3月上旬以前の整枝が望ましいと判断される。

(3) 高木仕立ての適品種

樹勢は遠観で評価したが, 品種により大きい差が見られた。樹勢の強い品種の中には'Montaigne'のように花芽着生が不良, すなわち低収量となる品種があった。また, 'Mme. Florent Stepman' など6品種は秋に萌芽して収量が低下した。

収穫時期は'Annabel'が早く, 労力分散に有利な品種と見られた。それ以外の品種は5月上旬で, 大きな差がなかった。

樹勢が強く, 収量が10本/樹以上得られる品種としては'Mme. Lemoine' 'Paul Thirion' 'Charm' 'Annabel' 'Sensation' 'Ludwig von Spath'が適する。なお, 'President Grevy'は花色, 花型が'Paul Thirion'と酷似し, 収量の点から, 'Lavender Lady'は日持ち性の点(データ略)から除外した。

4 まとめ

ライラックは幼木時に樹勢が弱く, 年数

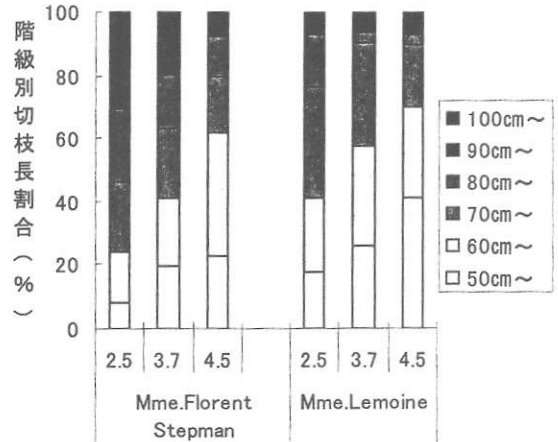


図1 高木仕立ての整枝時期と階級別切り枝長(2002年)

を経ても株張りの弱い場合が見受けられるので, 樹勢を得るためには肥沃な土壤に植え付けることが薦められる。また, 整枝は定植後3年目に弱枝を整理する程度にとどめて, 樹勢を強めることが重要である。

成木に達した樹で収穫枝を得るために, 高木仕立てでは長い着花枝を得るために3月上旬以前に切り戻し整枝を行なう必要がある。

比較的夏期に暑い東北日本海側においても樹勢が強く収穫枝が得られやすい品種としては, 'Annabel'ほか5品種が適する。

表4 品種特性

品種名	花色	樹勢	着花枝 割合 (%)	収穫 時期 (月・日)	不時出蓄 発生枝率 (%)	商品 本数 (本/樹)
Primrose	白	×	80	5.06	10	7.0
Vestale	白	◎	31	5.07	10	4.0
Mme. Florent Stepman	白	◎	100	5.06	90	13.7
Mme. Lemoine	白	◎	100	5.08	0	23.3
F.K. Smith	淡紫	○	62	5.06	0	3.7
Katherine Havemeyer	淡紫	◎	39	5.06	10	4.5
Edward Gardener	淡紫	×	41	5.06	30	4.0
Claude Bernard	淡紫	◎	19	5.08	0	1.7
Montaigne	淡紫	◎	21	5.09	0	3.0
Paul Thirion	淡紫	◎	94	5.07	0	18.3
Charm	淡紫	◎	98	5.07	0	24.3
Michel Buchner	淡紫	○	67	5.09	0	8.7
President Grevy	淡紫	○	90	5.07	0	15.3
Dark Night	淡桃	×	100	5.07	0	0.0
De Miribel	淡桃	○	100	5.07	0	0.0
Esther Staley	淡桃	○	74	5.07	10	10.3
Lavender Lady	淡桃	◎	81	5.07	0	18.7
Belle de Nancy	淡桃	×	67	5.07	0	8.3
Annabel	淡桃	◎	100	4.30	0	19.7
Monge	紫	×	46	5.07	0	1.3
Pocahontas	紫	×	100	5.07	0	15.7
Charles Joly	紫	◎	15	5.08	0	1.3
Sensation	紫緑白	○	76	5.07	0	15.0
Ludwig von Spath	紫	○	77	5.07	0	10.3